

馬の耳

どんな良い話を聞いても、何も行動しなかった私が「馬」ではなく「人間」である証明をする為、勉強会等で学んだことをまとめ、この「馬の耳」を作ることにしました。お世話になっている皆様のために、少しでもお役に立てればと思います。



発行日 2009年3月1日

発行元 (有)沼津電話工事

小野博文

〒410-0022 静岡県沼津市大岡3916-8

055-921-1551 tel

055-922-1144 fax

<http://www.net-ndk.co.jp/>

ono@net-ndk.co.jp

【リーダーがルールを作る】

あるテレビ番組で、面白い校則が取り上げられていました。「馬で登校してはいけない」「トイレトペーパーの使用量は、一回30センチ以内」「キーホルダーは、コブシまでの大きさとする」「歩幅は80センチ」等など。可笑しくて笑い転げてしまいました。この校則はどうかと思いますが、やっぱり規則、ルールというものは大切ですよ！ルールがあるからスポーツが面白く、規則があるから秩序が保たれるのだと思います。

先日、サッカー少年に「何でサッカーは手を使っちゃダメなの？」と聞いたら、「使ったらサッカーじゃないじゃん！」と鼻で笑われました。シャレで言ったつもりなのに…(汗)

前回の経営塾では、「ルール」についての話がありました。ルールって色々ありますよね。校則もルールですし、スポーツにももちろんルールがあります。法律上のルール、倫理上のルール、文化的ルール、道徳上のルールなど。企業にも守らなくてはならないルールがあります。私たちが会社でリーダーとしての役割を担っているのなら、会社のルールを決めたり、ルールを変えたり、ルールを守らせたりするのは私たちの仕事で、最も重要なのは自らがそのルールを守る事だという事でした。

「金持ち父さん 貧乏父さん」のロバート・キヨサキ氏も、弱いリーダーにありがちな状態は、下記のようなだと言っています。

- ・決まったルールがない
- ・ルールはあってもそれを曲げてしまう
- ・ルールを守らない
- ・ルールを守らせる勇気がない

もちろんルールが多すぎてもよくありません。ルールだらけだったり、時代遅れのものや、分かりにくいルールを作って押しつけても、最初に書いた校則のようになってしまいますね。

ロバートキヨサキ氏が言いたいことは、「強いリーダー+しっかりしたルール=力強いビジネス」という事だと思えます。

最近の不況を乗り切るには、強いリーダーにならなくてはいけません。自分で決めたルールを絶対に守るこだわりが大事なのだと再度確認しました！

おかげで「馬の耳」三月号が三月に間に合いました。私も頑張りますので、皆さんも頑張ってくださいねっ！

【お賽銭】

皆さんはお賽銭に、どれくらいお金を入れていますか？ 恥ずかしい話ですが、私は45年間、一度もお札を入れたことがありませんでした。縁が重なるよう「二重のご縁」とか言って25円入れたり、思い切って(?)財布にある小銭全部投げ込んだりした事はありませんでしたが、お札を投げ込む勇氣はありませんでした。

しかし、今年のお正月、生まれて初めて千円札を賽銭箱に入れたのです！ドキドキしましたよお。人の顔が書いてあるやつですからねえ。

理由は、今年は長男・長女の受験、また事務所も移転して初めてのお正月だったものですから、思い切っちゃった訳です。

それを見た長男、「いっちゃう!? やるねえ〜」私、「当たり前だよ。父ちゃんだって、やるときはやるんだよ!」と震える手、心臓のドキドキを息子に悟られないように手を合わせて来ました。そして2月には、ダルマ市で有名な毘沙門さんでも、千円いっちゃいました! いやあ〜やっぱりここでもドキドキしました。

ところでご存知ですか? ダルマを買う時には、わざと値切って、値切った分をご祝儀として渡すらしいですよ。いつも値切りっぱなしの私も挑戦してみました。後ろにいた家族は「父ちゃん、カッコいい〜!」と言っていました。買ったダルマは小さいやつでした。(汗)

もともと貧乏性の私は、とにかくお金は使わないほうがいいという考えで凝り固まっていました。ですからお賽銭はもちろん、人のための募金なんでもったいなくて…。会社の経営でもまったくそうでした。とにかくお金はなるべく抑えて抑えてと…。もちろん無駄遣いはダメですし、抑えるものは抑えなくてはいけませんが、使わなくてはいけないものまで抑えてしまっただけでは成長はないでしょう。生きる使い方をしなくてはいけませんね! お金の使い方には人間性が出るもので、その人の器も見えます。杉井先生は自分の「貧乏性克服トレーニング」の為に募金に1万円を入れたり、寄付したりしているそうです。「もったいねえ〜!」「俺がほしい〜」と思ってしまう私は、やっぱり器の小さい男なんです。(汗)

【超高級ケイタイ「ヴァーチュ」】

フイラントの世界最大手ケイタイ端末メーカー、「ノキア」の超高級携帯電話部門「ヴァーチュ」が銀座に開業します。金など貴金属を使って一台67万~600万円。月額5万2500円の定額制。端末の専用ボタンを押すと専門の担当者が、飛行機や宿泊の手配など、24時間365日代行してくれるサービスが受けられるそうです。



沼津経営塾開催日

3月26日(木) 市民文化センター第五会議室 PM7:00より

お馬様の
今月のお言葉

お馬様の
今月のお言葉